

大崎市民病院医療事故の公表について（包括的公表）

令和元年10月1日～令和2年3月31日に発生した医療事故は次のとおりです。

レベル3 b または 4 a に該当する件数

3 b	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化，入院日数の延期，外来患者に入院，手術，骨折）	10件
4 a	永続的な障害や後遺症が残ったが，有意な機能障害や美容上の問題を伴わない	0件

このうち，他の医療機関の事故防止につながると考える事例を，下記のとおり掲載します。

No.	概要	原因	改善・対応策
1	悪性腫瘍剤（パクリタキセル）投与中にアナフィラキシーショックを発症した。	悪性腫瘍剤（パクリタキセル）によるアレルギー様症状の発生率は41%で半数以上は最初の2～3分に発現する。	致死性の急変を防ぐために，副作用出現時はRRS要請することとアナフィラキシーショックマニュアルを改定した。